

製品名: p53R2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15650**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	RRM2B
別名	RRM2B; P53R2; Ribonucleoside-diphosphate reductase subunit M2 B; TP53-inducible ribonucleotide reductase M2 B; p53-inducible ribonucleotide reductase small subunit 2-like protein; p53R2
遺伝子 ID	50484.0
SwissProt ID	Q7LG56
免疫原	ヒト p53R2 の内部領域から得られた合成ペプチド。

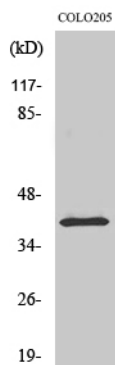
背景

この遺伝子は、p53 誘導性リボヌクレオチド還元酵素の小サブユニットをコードしています。このヘテロ四量体酵素は、リボヌクレオシド二リン酸からデオキシリボヌクレオシド二リン酸への変換を触媒します。この反応生成物は DNA 合成に不可欠です。この遺伝子の変異は、常染色体劣性ミトコンドリア DNA 枯渇症候群、常染色体優性進行性外眼筋麻痺-5、およびミトコンドリア神経胃腸性脳症と関連付けられています。選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2010年2月],触媒活性: 2'-デオキシリボヌクレオシド二リン酸 + チオレドキシンジスルフィド + H(2)O = リボヌクレオシド二リン酸 + チオレドキシン。補因子: サブユニットあたり2個の鉄イオンを結合する。疾患: RRM2B の欠陥は、腎尿細管症を伴う脳筋症性ミトコンドリア枯渇症候群 (EMDSRT) [MIM:612075] の原因である。ミトコンドリア DNA 枯渇症候群 (MDS) は、ミトコンドリア DNA (mtDNA) コピー数の減少を特徴とする、臨床的に多様な疾患群である。腎尿細管症を伴う脳筋症型では、低血圧、尿細管症、発作、呼吸窮迫、下痢、乳酸アシドーシスがさまざまな組み合わせで現れます。機能:p53/TP53 依存的に損傷した DNA を修復することにより、細胞生存に極めて重要な役割を果たします。G1 または G2 で停止した細胞に DNA 修復用のデオキシリボヌクレオチドを供給します。触媒に必要な鉄チロシルフリーラジカル中心を含みます。DNA 損傷に反応して休止細胞と増殖細胞の両方で発現する RRM1 と活性リボヌクレオチド還元酵素 (RNR) 複合体を形成します。誘導:野生型の p53/TP53 依存的に DNA 損傷に反応します。経路:遺伝情報処理; DNA 複製。類似性: リボヌクレオシド二リン酸還元酵素小鎖ファミリーに属する。細胞内局在: DNA 損傷に反応して細胞質から核へ移行する。サブユニット: 大サブユニット (RRM1) とのヘテロ四量体。p53/TP53 と相互作用する。DNA 損傷に反応して RRM1 と相互作用する。組織特異性: 骨格筋で広く高発現し、胸腺では弱い発現を示す。上皮性異形成および扁平上皮癌で発現する。、

研究分野

プリン代謝;ピリミジン代謝;グルタミン酸代謝;p53;

画像データ



p53R2 ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析